



第 1 回学校評価へのご協力ありがとうございました

野山の紅葉が一段と美しくなってまいりました。

平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、9月末にはお忙しい中、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。保護者の皆様からの評価とご意見を受け、課題をとらえ、その改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。評価結果のうち、ぜひご一緒に考えたい点について紹介させていただきます。多くの皆様からのご意見を大切にし、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願いします。

◎よくあてはまる ○どちらかといえばあてはまる △どちらかといえばあてはまらない ×あてはまらない
◎と○の結果を「達成している」項目と考えて達成度（%）を表し、考察と改善策を考えています。

＜確かな学力＞

評価項目	児童(%)	保護者(%)	教職員(%)
子どもが意欲的に学習に取り組む	79.8	83.9	100
基礎・基本の力を身につけている	92.6	81.1	100
自分の思いや考えを、進んで書いたり話したりする。	73.8	56.1	100
いろいろなことにめあてをもってがんばる	83.8	67.9	80.0
家庭学習に取り組む	67.2	60.8	75.0
あきらめず、最後まで粘り強く取り組む	79.6	67.6	60.0
進んで本を読むこと	83.3	50.3	40.0



◆考察と改善策

- 「学習への意欲」については、学習内容への興味の大きさや得意不得意などで大きく変わってきます。しかし、子ども達が興味をもって積極的に学習に取り組めるよう、体験活動や操作活動を入れたり、ペア学習やグループ学習を取り入れたりと、授業改善に向けて取り組んできました。その取組が、子ども達の「わかった。」「できた。」という成就感・達成感に確実につながるよう、今後も更なる授業改善をしていきます。
- 「進んで書いたり話したりする」については、児童・保護者において、「あまりできていない」と評価しています。間違うことを心配して、自分の思いをなかなか発表できない子もいます。また、初めからうまく書こうとして鉛筆が進まない子もいます。間違えても途中までしか言えなくてもいいから話してみよう、初めからうまく書けなくても書いているうちに整理できたらいいから書き始めようと思えるよう、声掛けをしたり発表の仕方を工夫したりしています。ゆっくり話を聞くことも大切にていきたいです。
- 「進んで本を読む」については、児童と教職員や保護者において意識の差が見られます。朝読書は定着していますが、設定された時間以外に自分から本を読む習慣がついていないのが実態です。読書ノートを工夫したり調べ学習で図書室を積極的に利用したり、色々な分野の本を紹介したりする等、読書の楽しさをどの子も味わい、自分の世界を広げていける取組をこれからもしていきます。
- 「家庭学習」については、継続させることが学力の定着につながります。低学年では、毎日丁寧に宿題をする習慣をつけること、中・高学年では、学校からの課題だけでなく自分で考えてする自主学習に取り組むことを中心に指導しています。適切な課題を紹介したり、予習や復習をするよう声を掛けたりして、どの子も取り組めるように指導をしていきたいと考えています。自分が決めた時間にしっかりと学習に取り組めるよう、ご家庭でも、様子を見てあげてください。

<豊かな心>

評価項目	子ども(%)	保護者(%)	教職員(%)
子どもが進んであいさつすること	93.6	81.1	60.0
子どもが学校で一人一人大切にされること	96.9	87.8	100
子どもが学校で楽しく過ごすこと	93.5	92.3	80.0
子どもが学校できまりや約束を守ること	93.3	86.7	80.0

◆考察と改善策

- ・「進んであいさつすること」については、昨年度と同じく、児童はあいさつをしていると自覚していますが、三者の評価にはばらつきがあります。学校では、児童会を中心とした「あいさつ運動」を登校時に実施していますが、学校の正門ではしっかりとあいさつができるても、それ以外の場所であいさつができる児童が多いとは言えません。学校や地域で、自分から進んで気持ちの良いあいさつができるようにするために、教師や親など周りの大人は、あいさつを交わすことの大切さを知らせ、進んで範を示していくことが必要です。ご家庭でも、あいさつをするようお声掛けください。
- ・「一人一人大切にされること」「学校で楽しく過ごすこと」についての評価は高いです。しかし、わずかであってもそうではないと考えている子がいます。一人一人に寄り添う指導をして、一人一人が居心地の良い学級集団をつくることが大切です。今後も、子ども達の話をしっかりと受けとめ、一人一人が大切にされる学級づくり・学校づくりを目指します。
- ・「きまりや約束を守ること」については、小さいことでも守らせたいと思うことはぶれずに徹底して指導してきました。しかし、きまりについては理解していても、その場になると強い意志が持てない時もあります。学習ルールや学校のきまりを守ることの大切さを理解し、どんな時も自ら実行できる力をつけたいです。「学習のできる集団」「居心地のよい集団」づくりを目指し、指導していきます。

<健やかな体・学校独自の取組>

評価項目	子ども(%)	保護者(%)	教職員(%)
子どもが毎日、朝食を食べること	97.1	95.2	100
子どもが早寝・早起きをすること	69.0	69.0	60.0
地域や保護者と協力して子ども達の安全を見守ること	96.8	95.7	100

◆考察と改善策

- ・「朝食」については、毎日朝食を食べて登校している児童が多いです。朝食をしっかりと食べないと、午前中の学習や活動に必要なエネルギーが不足して、十分に力を発揮することができません。そのためには、ゆっくりと朝食が食べられるように早く起床することが大切です。
- ・「早寝・早起き」については毎年評価が低くなっています。遅くに起きて時間がないためか、夏休み明けの「生活しらべ」でも、パンやご飯だけの朝食ですませている児童がいることが分かりました。学習や活動にしっかりと取り組めるよう、また身体の発育・発達の観点からも、早寝・早起きの習慣が身につきますようご協力お願いします。
- ・「安全を見守ること」については、子どもも保護者も高い評価がでています。学校として教職員が常に危機意識をもって取組むとともに、安全教育や避難訓練を徹底し、児童自らが安全についての意識を高め、今後も一層、地域と学校が連携して子ども達の安全を見守る取組を継続していきます。



【学校運営協議会委員の皆様からのご意見】

- ・子ども達が、積極的に学びたくなるような授業をしていくことが大切である。
- ・縦割り活動をより充実させることで、異学年集団の中で人と共に活動する楽しさを味わったり、人と関わる上でのルールやマナーを身につけたりすることができる。
- ・朝の正門での挨拶はできていっても、普段の生活の中での挨拶ができていない児童が多いので、児童への指導と共に、家庭へも発信をしていくことが大切である。
- ・親が子どもの様子を受けとめ支えていくことで、子どもの力は伸びていく。学校からの手紙や宿題などの、提出物や持ち物などにも十分に目を配ることの大切さを家庭に発信をしていくことが大切である。
- ・安全のため、どんな時もしっかりと交通ルールが守れるよう、周囲の人が自転車の乗り方などの交通ルールを守って見せることが大切である。
- ・我が子がどんな人に育ってほしいのか、自分はどのように行動しているのかということを、親として考えることが大切である。

自由記述欄に寄せられたご意見から (内容をご紹介します)

◆学習・生活について

- ・校外学習を、いつも楽しみにしています。伝統文化に触れる等、貴重な体験をしていると感じます。これからも、教室では味わえない生の体験を通して、子ども達の感性を育ててもらえたたらと思います。

*総合的な学習の時間や生活科の時間を中心に、体験学習を大切にしています。机上の学習だけでなく体験を通して学ぶことで、知識だけではなく、自分の思いをもってより深く学ぶことができると考えます。特に、生活科や総合的な学習を通して自分達の住む町のことを学ぶことで、より町のことや地域のことを大切に思える子に育ってほしいと願っています。

- ・高学年になって、月を追うごとに、子どもに学習をしようという思いが感じられるようになりました。読書もまだマンガが多いが、少しでも図書館に行く機会、本を読む時間が増えていると思います。
- ・学年が上がる度、“確かな学力”的部分で満足にできていないと感じる事が多くなってきた気がします。心の面では少しずつ自分を持ち始めていると感じ、喜びと不安の両方を保護者の立場として感じるようになりました。勉強も大事ですが、心が離れないよう接していくかと思います。
- ・宿題の大半が漢字と自主学習に偏り、ほとんど算数が出ないことが気になります。自主学習を宿題として多く出すであれば、good・OKといったコメントではなく、各生徒がより意欲を持って自主学習に取り組めるよう、提出了した学習内容に的確な助言をいただきたい。教師の適切な指導があつてこそ小学生の宿題としての自主学習の意義や意味があると思います。

*基礎基本の学習は、大切にしていかなければなりません。子ども達が興味をもってより積極的に学習できる様な授業をしていくと共に、家庭学習にも力を入れてきました。「家庭学習のすすめ」を全児童に配って指導すると共に、各ご家庭にもお配りいたしました。出された宿題をするだけでなく、自分の興味あることを調べたり、苦手な事を繰り返し練習したりと、自分で課題を考えて自主的に学習に取り組んでほしいとの思いから自主学習に力を入れています。ただ、そこには教師の適切な指導が必要です。一人一人の児童に寄り添い、適切なアドバイスを今後もしていきたいと思います。

- ・懇談会で、毎年同じことを先生にお話したり言われたりします。お話しているのに、子どもに変化がないということです。人数も少ないクラスなので、子どもの弱い部分などを伸ばしプラスになるよう見ていただけると、と思います。

*子ども達は、学年が上がり環境が変わる中で大きく成長することもあれば、心身の変化に合わせてゆっくりと期間をかけて成長していく部分もあります。成長しているところを見逃さないようにしっかりと見て、必要な支援をしていかなければなりません。保護者の方と連携して、子ども達がより成長していくよう支援をしていきたいと思います。

- ・どの学年・各クラスにも共通する生徒指導の仕方に対する一貫性が、あまり見受けられません。教師にとっては大したことがないと思われることでも、個々の児童に応じて保護者にきちんと説明していただければ、より学校との連携が強くなるのではと思います。

*子ども達が頑張ったことや困ったこと、トラブルになったこと等、色々なことを連絡帳やお電話、家庭訪問等でお知らせしていますが、十分にお伝えできていないこともあるかと思います。学校として、常に危機意識をもって共通理解のもと、保護者の方と連携して子ども達を見つめていきたいと考えています。ご家庭でお気づきのことがありましたら、遠慮なく学校にご連絡いただきたいと思います。共に思いを受けとめ、共に子ども達を見守っていきたいと考えます。どうぞ、よろしくお願ひします。

◆食事について

- ・いつもあたたかく見守っていただき、普段の様子も伝えていただき、有難く思っています。親としては、日々の活動を支える食事だけはきちんと摂らせるよう努めています。食事と身体・心は直結していると、子育てしながら実感しています。できる範囲でやっていきたいと思います。
- ・子どもは、元気な体を作るため、好き嫌いなく何でも食べて欲しいと思います。家でも、食べやすく野菜等工夫するのですが、苦手なものは避けています。学校の給食では、ゴーヤを頑張って食べたと報告してくるので、母としては何だか腑に落ちないですが、とにかく給食様々です。

*子ども達にとって、食事は大変重要です。しっかり食べることで、体も心も育ちます。栄養バランスだけでなく、食事をする環境も大切です。給食の時間には、子ども達は苦手な食材も頑張って食べることが多いです。先生から栄養について話を聞いたり、友達と楽しくおしゃべりをしたりしながら食べています。おうちでも、おいしく楽しく食べられますよう、より一層の工夫をお願いします。

◆地域・PTA・環境について

- ・地域の方々、先生、他の保護者の方々の目があるので、安心して子ども達を外に送り出せていると思います。
- ・学校と地域で、子ども達が安全に過ごせる事を願います。
- ・子ども達が、体も心も健康に、毎日を楽しく充実して過ごせるよう、親だけでなく学校の先生達、地域の方々と力を合わせ、沢山の温かい目で見守っていける環境づくりができればいいと思います。

*毎日の登下校時の安全の見守り、1年生入学当初の集団下校時の見守り、校区たんけんなどの学習時間の見守り等、様々な場面で地域の皆様が子ども達の安全を見守ってくださっています。また、翔鸞公園で遅くまで遊んでいる子ども達に早く帰るよう声を掛けてくださっている保護者の方もおられます。気付かない所で、子ども達はたくさんの方に守っていただいている。地域の子ども達を地域のたくさんの目で守り育てていくことが大切です。挨拶をしてくれたら、「気持ちのいい挨拶をありがとう。」、危険なことをしていたら、「危ないからやめようね。」、暗くなるまで遊んでいたら、「遅いから、早く帰ろうね。」などの声を、是非子ども達にかけてあげてください。よろしくお願ひします。教職員も、クラスや学年にとらわれず、みんなの目で子ども達を見守っていきます。

- ・PTAの名札が、今年から置いてあります。無人の受付で配布したのでは、誰でもが持ち去れるし、安全のためにはなりません。

*名札については、入学式の日にPTAから2枚ずつ配布されていますので、子ども達の安全を守るために、学校へ来られる時には、是非ご着用ください。白い部分にお名前を書いていただくようになっています。忘れた方のために、名前が書ける貸し出し用名札をPTA本部で用意して下さいました。名札があると、来校者が確認できます。名札の着用は、子どもの見守りの上でとても効果があります。PTA本部の方が受付にいてくださることもあったのですが、時間的に無理な時もありました。安全な貸し出しの仕方については、今後工夫していきたいと思います。

◆学校評価について

- ・誰がアンケートを書いたのか分からないようにしないと、本音が出ないと思います。

*書いていただいたご意見は大切に受け止めて、学校運営に活かしていきたいと思います。また、書いていただいたことについてお話をさせていただくためにも、お名前を書いていただくと大変ありがたいです。

